

# キリンビール株式会社

## 横浜臨海部の主な事業所

◆ 横浜工場（鶴見区生麦）

## 脱炭素分野の取組

主に対象とする脱炭素分野（グリーン成長戦略の重点 14 分野との対応）

② 水素・燃料アンモニア

⑨ 食品・農林水産

⑬ 資源循環関連

### 取組概要

キリンビールは、「食領域」における酒類の販売等を通じて、キリングループの収益を支えています。グループの脱炭素化に向けては、GHG排出量について、Scope 1+2を2030年までに2019年比で50%、Scope 3を2030年までに2019年比で30%削減する目標（2050年はいずれもネットゼロ）を設定しており、特にScope 1+2の削減に向けては「省エネ」「再エネ」「エネルギー転換」を実施する方針です。

横浜工場では、GHG排出量の削減に向けた多様な取組を進めており、太陽光発電設備（630kW/20kW/3.7kW）設置のほか、神奈川県が保有するスマート水素ステーション（横浜工場内に設置）では、太陽光発電設備による発電電力を活用した水の電気分解により、CO<sub>2</sub>フリーの水素を製造しています。また、ビール製造から発生する副産物・廃棄物の100%再資源化を1994年から継続しています。

守屋町・  
恵比須町・宝町

大黒町

末広町

みなとみらい21

横浜港・港湾部

磯子・根岸



横浜工場の外観